



地域の自主性が
つくり出す
津山の安全

佐良山学区自主防犯会
上原 勇三さん(皿)

警察の犯罪検挙率の低下が問題になっています。その一因として、付近住民への聞き込み調査で有力な情報が得られないことがあげられるのではないのでしょうか。住民の地域への意識が低いと感じます。もっと自分の住む地域に目を向け、不審者情報などもみんなで共有し、犯罪を防止していく、そんなまちづくりをめざしてこの会は発足しました。

特徴は、地域住民による自主防犯組織であることのほか、老人クラブもメンバーに入っていることでしょうか。仕事や子どもを持つ青壮年は、どうしても日の高いうちに地域へ目を向けられませんが、高齢の人はそれができます。幅広い年齢層が会の防犯効果を高めることを期待しています。

今後は、まず年間の取り組みをまとめた地域安全活動推進計画を作成。そして小学校登下校時の安全パトロールをはじめ、通学路や通学時間、かけ込み110番の地域住民への周知など、できることから取り組んでいきます。将来的には講演会や防犯マップづくりなど、住民の防犯意識を高める情報提供にも力を入れていきたいですね。

このような地域での自主的な取り組みがほかへも波及し、津山が安全性を誇れるまちになれば、という思いで活動していきたいです。

問い合わせ先 佐良山学区自主防犯会
事務局(佐良山公民館)☎28-2543へ



佐良山学区自主防犯会役員のみなさん
左から井川敏夫さん(高尾)、植月良祐さん(一方)、上原勇三さん、松尾将夫さん(中島)



小学生を守る登校安全パトロール

犯罪から地域を守る
自主防犯組織



津山市で初めての自主防犯組織が誕生
「自分たちの地域は自分たちで守る!」。10月、津山市で初めての自主防犯組織「佐良山学区自主防犯会」が発足。市内で起こった小学生殺害事件や不審者の出没を受け、佐良山地区の約100人が立ち上がりました。

この会は、その名のとおり住民が自主的に防犯活動を行い、自らの手で地域の安全を確保する組織です。住民の防犯への意識を高める意味でも今後の取り組みが期待されています。

市全域に目を光らせる
警備隊も始動

12月には、市内全域を対象に活動する「津山防犯警備隊」が発足する予定です。武道関係者や教員を中心とする約20人の市民が、巡回パトロールや声かけなどを行い、犯罪の抑止や市民の意識向上を図ります。

自主防犯組織についてのお問い合わせは、市環境生活課 ☎2056へご連絡ください。